



# 日輪

ほんこうきょういくもくひょう  
本校教育目標

ふれあおう 楽しもう 学びあおう

へいせい ねん ど がつ ごう  
平成22年度 10月号

かんなづき  
神無月

よこはましりついできたしやうがっこう  
横浜市立飯田北小学校  
こうちやう むとう まきこ  
校長 武藤 牧子



がっこうちやう むとう まきこ  
学校長 武藤 牧子

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉の通り、彼岸を過ぎてからは過ごしやすいい日が続いています。10月8日(金)の前期終業式を目前に、子どもたちは、これまでの学校での学習や生活の様子について振り返りとまとめに取り組んでいます。9月24日(金)には、授業参観・懇談会を実施し、前期の子どもたちの学習や生活について担任からもお伝えしました。8日に持ち帰る「あゆみ」は、子どもたちのがんばりに対する評価とともに後期に向けて頑張る目標をもてるように活用していただきたいと思います。

## 「育てたように子は育つ」

9月24日の夕方職員室に戻った先生たちがこんな話をしていました。「今日の〇〇さんは、姿勢もよく、指示されなくてもノートを開いて丁寧に字で記録していました。お家の方が授業参観に来てくださっているので頑張っている様子を見せたいのでしょうか。」すると「私のクラスの子どもたちもそうです。やっぱりお家の人に見られることって子どもにとっては嬉しいことなんですね。」確かに、授業参観の日は、掃除もいつもより早くきれいに、授業の前に準備して待っている様子が見られます。子どもたちは緊張しながらも精一杯取り組むのです。授業参観・懇談会にお家の方が参加してくださることは、子どもたちの学校での様子に関心を持ってくださることの証です。また、学校の教育活動に関心を持ち、子どもの成長のために学校と家庭が連携をとりよりよい教育の実現に向けてのよい機会です。子どもは、勝手に育っているように見えますが、実は、周りの大人の関わり方、育てたように育っているのです。

先日、地域の方が来校し、子どもたちの地域での様子を知らせてくださいました。それは、4月から取り組んでいる挨拶のことで、登下校時に、子どもたちが出会った地域の方に挨拶をしているというのです。子どもが挨拶をしてくれる姿に感じし学校に伝えてくださいました。先日も登校時に地域のおばあさんに会おうと「おはようございます。」と声をかけている5年生を見かけました。おばあさんも「いってらっしゃい。」と通り過ぎる子どもたちの集団を見守ってくださいました。挨拶一つでお互いに気持ちよくなること、その様子を見ている私もすがすがしい気持ちでした。

また、こんなこともありました。朝会で、「いのちのおはなし」という日野原重明先生の本を子どもたちに紹介しました。すると3年生が休み時間に本を見せてほしいと校長室に来ました。ある2年生の子は、お母さんに朝会の話をお母さんに伝えその本を買ってほしいといったそうです。お母さんからそのお話を伺い、子どもを介して学校と家庭が繋がれることを嬉しく思いました。

朝会で話したことを心にとめてくれた子がいることに感激しました。同じように先週の朝会でのことを2年生が日記に書いてくれたので紹介します。『きょう、学校で朝にちょうかいで校長先生が言ったことばをおてほんにして家でもじぶんからやったりおてつだいをしたりしました。やってみてすごく楽しかったです。ずっとつづけてみたいと思いました。やってみるとやったぞうという気持ちがあります。(いしせいや)』これは、朝会で『やらされることからすることへ』ということで、学習でも掃除でも先生に指示されてやるのと自分からやるのではできばえも達成感も違うということをお話したのです。いやなこと苦手なこと嫌々やるより「こうやろう」と自分のできる範囲で自分で目当てをもって自分からやろうとすればすがすがしい気持ちや自分ができるという喜びを感じられるという話でした。話したことをしっかり受け止められる子どもがいることを知り益々飯田北の子どもたちのすばらしさを感じました。